

# HAKKO 852

SMD REWORK STATION

バキュームピックアップ付  
SMDリワークステーション

## 取扱説明書



お買い上げいただきありがとうございます。  
この商品はバキュームピックアップ内蔵・  
マニュアル/オートモード切替・デジタル制御などを  
特徴としたSMDリワークステーションです。  
この説明書をお読みになり、正しくお使いください。  
お読みになった後も、後日お役に立ちますので  
大切に保管してください。



### 目次

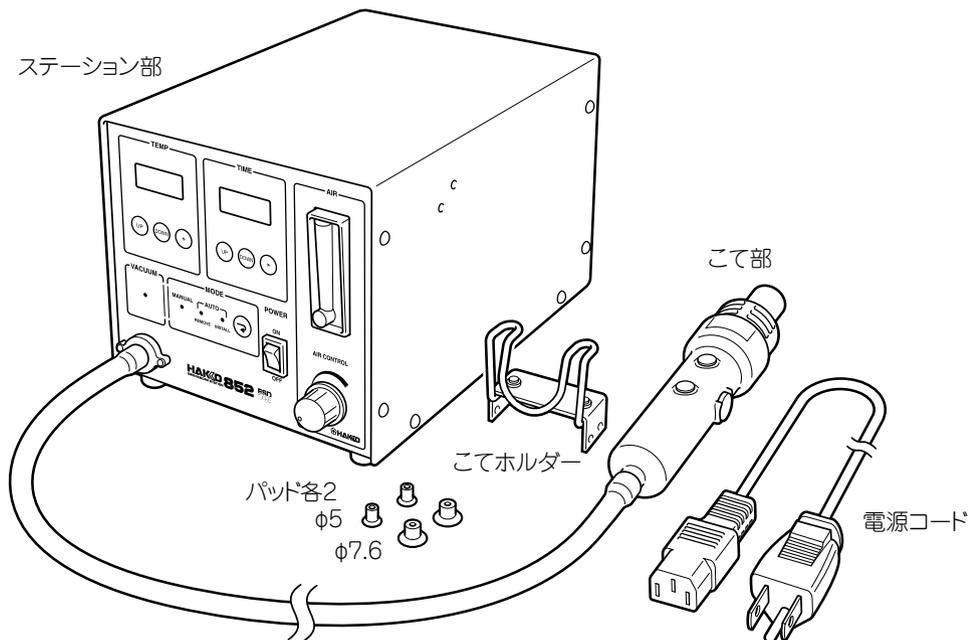
セット内容/仕様	1
安全及び取扱い上のご注意	2
各部説明	3-4
準備・組み立てと接続	5~7
使用方法	8~13
パラメーター・イニシャルリセット	14
メンテナンス・点検方法	15
エラー表示・トラブル発生時に	16
オプション/ノズル・フットスイッチ	17~18
部品リスト/ステーション部	19-20
こて部	21
配線図	22

# セット内容

まず最初にセットの内容をご確認ください。

ハッコー852本体	1
電源コード	1
こてホルダー	1
パッド(φ5、φ7.6)	各2
取扱説明書	1

※この商品にはノズルが含まれておりません。  
ICに合わせたノズルを別途お買い求めください。



# 仕様

品名	ハッコー852
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	300W

## ●ステーション部

消費電力	30W
風量	7 <sub>F</sub> /min~20 <sub>F</sub> /min以上
制御温度	100°~450°C/212°~842°F(センサー部)
モード	マニュアル/オート
タイマー	15~999秒
外形寸法	180(W)×170(H)×260(D)mm
重量	5kg

## ●こて部

消費電力	270W
全長(除コード)	200(L)mm
重量(除コード)	200g

※この商品は静電気対策されています。  
※仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがありますがご了承ください。

# 安全及び取扱い上のご注意

## 警 告

この説明書では、注意事項を下記のように「警告」「注意」の2つに区分して表示しています。内容をよく理解されてから本文をお読みください。

 **警 告**：誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注 意**：誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

●安全のため以下の注意事項を必ず守ってください。

## 注 意

電源を入れると熱風及びノズル付近の温度は100～450℃の高温に達します。取扱いを誤ると、やけど・火災の恐れがありますので、以下の注意事項を必ず守ってください。

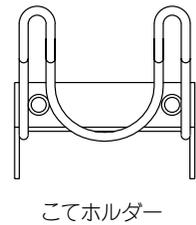
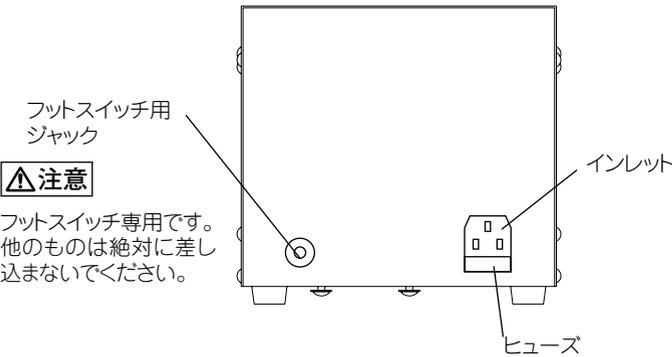
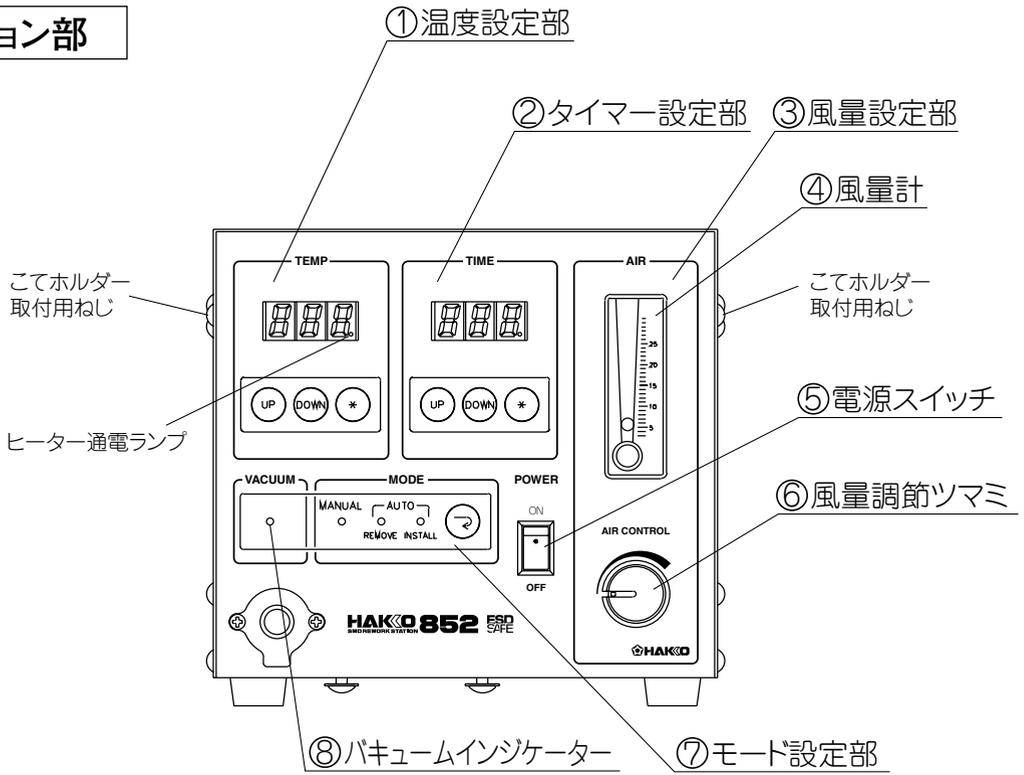
- 熱風やノズル周辺の金属部分に触れない。
- 引火性のあるガスや材料、燃えやすいものの近くで使用しない。
- ノズルを人や顔に向けない。
- 周囲の人に「高温につき危険である」ことを知らせる。
- 使用を中断・終了する時や、その場を離れる時は電源を切る。
- 部品交換時や収納時は本体を冷却してから電源スイッチを切り行う。

●事故や故障につながりますので、以下の注意事項を必ず守ってください。

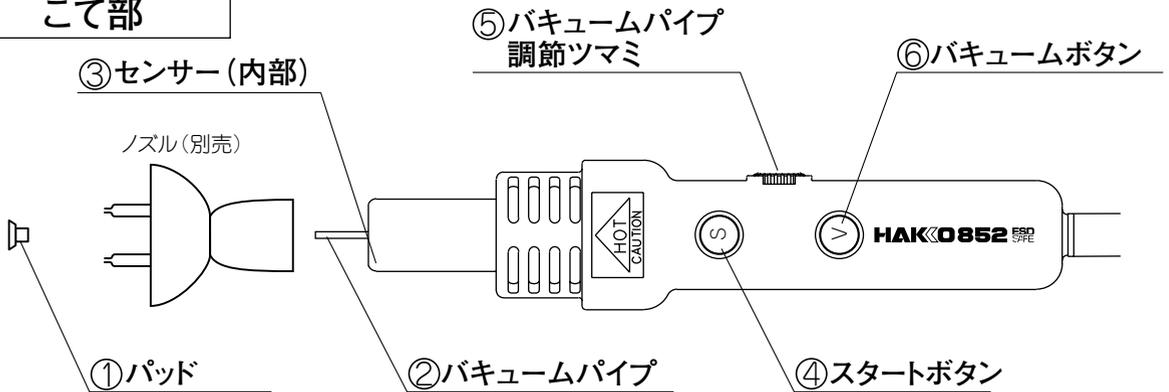
- こて部を作業台に打ちつけるなど強い衝撃を与えない。
- 必ず接地して使用する。
- ポンプ及びバキュームポンプは分解しない。
- 本品を改造しない。
- 交換部品には、純正部品を使用する。
- 水につけたりぬれた手で使用しない。
- コードの抜き差しはプラグを持って行う。
- 長時間バキュームポンプをONにしない。
- 使用后、温度表示部に“P-S”が出るまで、電源は切らない。
- 作業する際、よく換気する。
- その他危険と思われる行為は行わない。

# 各部説明

## ステーション部



## こて部



- ①温度設定部 (温度設定機能) ..... 温度表示と設定を行います。100°～450℃ (212°～842°F) の範囲で温度設定できます。工場出荷時には300℃に設定されています。  
 (UP) (DOWN) 一温度の上げ下げを行うボタンです。  
 (\*) 一秒以上押すと温度設定モードに入ります。  
 温度設定時、設定した温度を決定します。  
 1秒未満、押すと設定温度を表示します。  
**△注意** 表示及び設定温度はセンサー部での温度です。
- ②タイマー設定部 (タイマー設定機能) ..... オートモード時、加熱時間の表示と設定を行います。15秒～999秒の送風時間の設定が可能です。  
 (UP) (DOWN) 一秒数の上げ下げを行うボタンです。  
 (\*) 一秒以上押すとタイマー設定モードに入ります。  
 タイマー設定時設定された時間を決定します。  
 1秒未満押すと設定時間を表示します
- ③風量設定部 (風量設定機能) ..... 7 /分～20 /分の風量設定が可能です。風量調節ツマミで調節します。
- ④風量計 ..... 風量を示します。(7 /min以上)
- ⑤電源スイッチ ..... 電源の入・切を行います。
- ⑥風量調節ツマミ ..... 風量の調節を行います。
- ⑦モード設定部 (モード設定機能) ..... モードの表示と選択を行います。MANUAL、REMOVE、INSTALLの3つのモードから選択できます。  
 (C) モード選択ボタンで選択します。
- ⑧バキュームインジケータ ..... バキュームポンプが動作した時点灯します。
- ①パッド ..... 部品を吸着します。
- ②バキュームパイプ ..... 先端にパッドを取り付けます。
- ③センサー (内部) ..... 熱風の温度を感知します。
- ④スタートボタン ..... ● マニュアルモード時  
 熱風の吹き出しを開始します。  
 もう一度押すと冷却をはじめ、200℃になると停止します。  
 ● オートモード時  
 プログラムをスタートさせます。  
 もう一度押すとプログラムを停止し、冷却を始めます。
- ⑤バキュームパイプ調節ツマミ ..... バキュームパイプの長さを調節します。
- ⑥バキュームボタン ..... バキュームポンプの入・切を行います。

# 準備-組み立てと接続

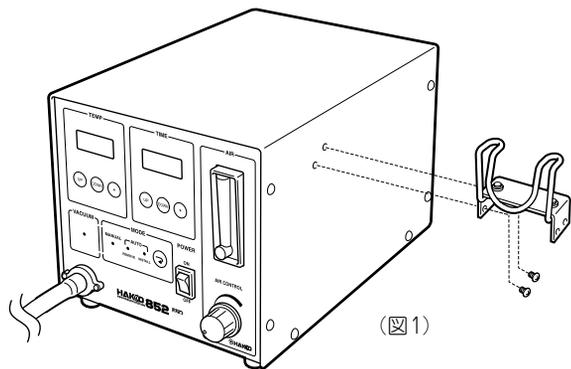
## 準備-組み立てと接続

### A.ステーション部の組み立て

#### ●こてホルダーの取り付け

本体横のこてホルダー取り付け用ねじをはずします。こてホルダーを本体に取り付けます。(図1)

(左右どちらでも取り付け可能です。)

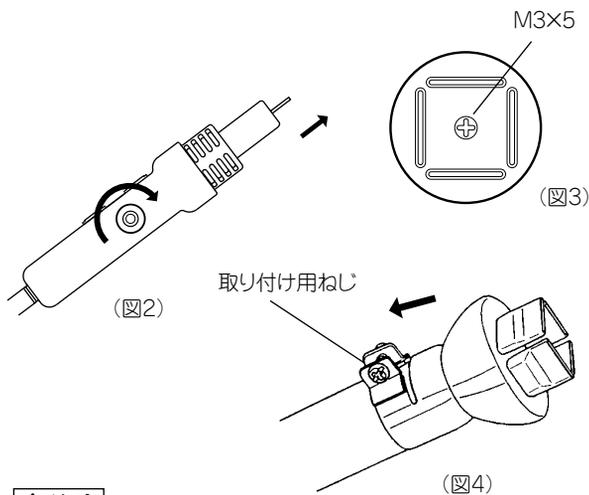


### B.こて部の組み立て

#### ●バキューム機能が使用できるノズル (17ページ参照)を使用する場合

##### 1.ノズルの取り付け

- バキュームパイプ調節つまみでバキュームパイプを出します。(図2)
- ノズル内側のねじ(M3×5)をはずします。(図3)
- ノズルの取り付け用ねじをゆるめます。バキュームパイプをノズルの穴に通しノズルを取り付けます。(図4)
- ノズルの取り付け用ねじを締めます。



#### ⚠注意

- バキュームパイプ  
無理な力をかけないでください。  
ノズルを取り付けていない時は最短まで縮めてご使用ください。(図5)



##### 2.パッドの取り付け

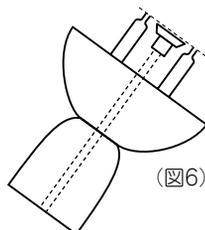
- パッドを取り付けます。(図6)
- 適当な位置に調節します。  
パッドは出来るだけ短く出して使用してください。

#### ⚠注意

ノズルやパッドは高温となります。交換する場合は、冷却してから交換してください。

#### ⚠注意

- パッド  
パッドは消耗品です。劣化したら取り替えてください。高温にさらすと劣化が進むので、作業終了後こまめに冷却してください。



●バキューム機能が使用できないノズル  
(18ページ参照)を使用する場合

■ノズルの取り付け

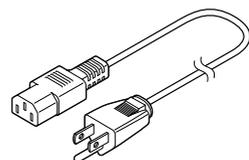
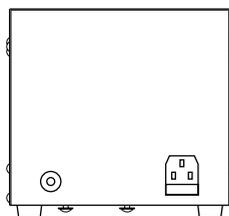
- a.バキュームパイプ調節ツマミでバキュームパイプを最短まで縮めます。  
(図5)
- b.ノズルの取り付け用ねじをゆるめます。  
ノズルを取り付けます。(図4)
- c.ノズルの取付け用ねじを締めます。

**⚠注意**

パッドは使用できません。

## C.接続・電源を入れる

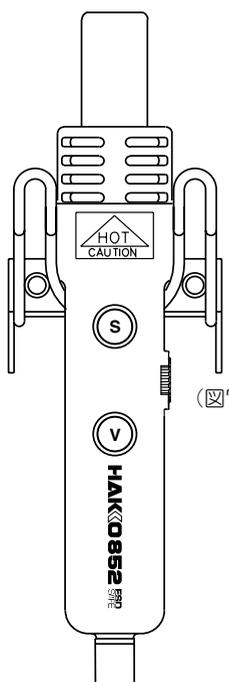
- 1.電源コードをステーション後面のインレットに接続します。(図6)
- 2.こて部をこてホルダーに置きます。(図7)
- 3.電源プラグをコンセントに差し込みます。
- 4.電源スイッチをONにします。



(図6)

**⚠注意**

本品は静電気対策されていますので、必ず接地してください。



**⚠注意**

使用しない時は、こて部をこてホルダーに置いてください。

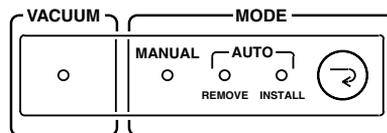
(図7) 上から見た図

# 準備-組み立てと接続

## D.モードの選択

モード選択ボタンにより使用するモードを選びます。

HAKKO852は使用方法により3つのモードを選択することができます。



(図8)

### ●MANUALモード (8ページ参照)

送風開始や、パキュウムポンプの動作を全て手動で行うモードです。AUTOモードの条件の検討や条件の出ていないもの、修理や単一の作業などでお使いください。

### ●REMOVEモード (AUTO) (9ページ参照)

部品を取りはずす時に使用するモードです。スタート後、加熱時間をタイマーで設定できます。パキュウムポンプは自動的にONになります。

### ●INSTALLモード (AUTO) (10ページ参照)

部品を取り付ける時に使用するモードです。スタート後、加熱時間をタイマーで設定できます。

パキュウムポンプは自動的にOFFになります。

# 使用方法

## マニュアルモードでの使用

### ●マニュアルモードの選択

モード選択ボタンを押しMANUALに設定します。タイマーは動作しません。タイマー表示部は「- -」を表示します。

### ●送風

#### 1.スタート

こて部(またはフットスイッチ)のスタートボタンを押すと送風を開始します。熱風がノズル先端より吹き出し、設定温度に温度制御されます。

#### 2.ストップ

もう一度スタートボタンを押すと、ヒーターへの通電はストップし、冷却を始め、200℃で自動的に送風を停止します。送風を停止後、温度表示部は「P - S」を表示します。

### ●バキューム機能

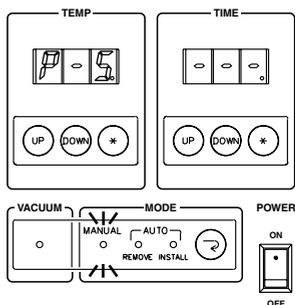
パッドに部品を密着させます。

#### 1.スタート

こて部のバキュームボタンを押すと、バキュームポンプがONになり、部品を吸着します。

#### 2.ストップ

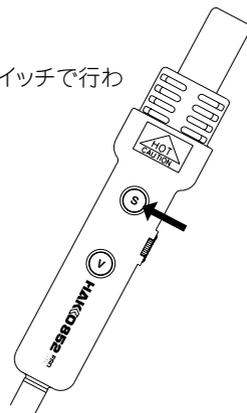
バキュームポンプをOFFにするにはバキュームボタンを0.3秒以上押し続けます。



設定温度を確認する場合  
\* ボタンを1秒未満押しま  
す。変更したい場合は11  
ページの温度の設定/変  
更に従い変更します。

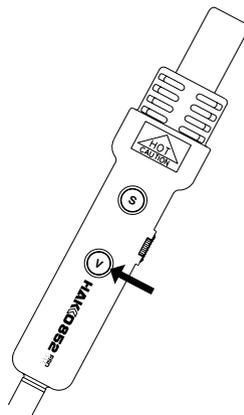
#### ⚠注意

熱風やバキュームを止める時は電源スイッチで行わないでください。



#### ⚠注意

故障の原因になります。p-sが表示されるまで電源スイッチを切らないでください。



#### ⚠注意

吸着した部品は高温になっていますので部品を取り外す際にはご注意ください。

# 使用方法

## AUTO/REMOVEモードでの使用

### ●REMOVEモードの選択

#### ●REMOVEモードの選択

モード選択ボタンを押しREMOVEに設定します。このモードのプロセスは

- ①スタート／熱風吹き出し(手動)
- ②タイマー5秒前バキュームON(自動)
- ③バキュームOFF(手動)
- ④冷却開始及び送風停止(自動)となります。

### ●取り外し

#### ●部品のセット

取り外す部品の上にノズルとパッドをセットします。

#### ①スタート(加熱)

こて部(またはフットスイッチ)のスタートボタンを押します。熱風が吹き出し、はんだを溶かします。タイマーはカウントダウンを始めます。(図1)

#### ⚠注意

プログラムを中止したい場合は、スタートボタンを押します。冷却を開始します。

#### ②部品の吸着

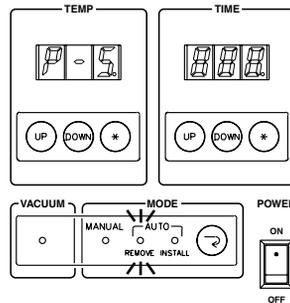
タイマーが残り5秒になるとバキュームが自動的にONになり、部品を吸着します。こて部を持ち上げ、基板から部品を取り外します。(図2)

#### ③吸着した部品の取り外し

吸着した部品を取り外すため、バキュームボタンを0.3秒以上押します。(図3)

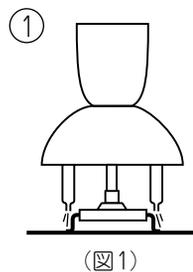
#### ④ストップ

その後、タイマー0になると冷却を開始し、200℃で送風が停止します。(図4)

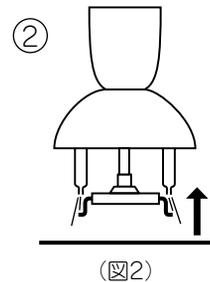


設定温度を確認する場合、**\***ボタンを1秒未満押しします。変更したい場合は11ページの温度の設定／変更に従い変更します。

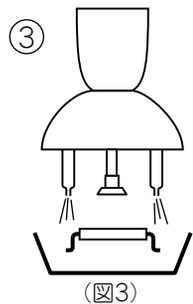
送風時間を変更したい場合は12ページのタイマー時間の設定／変更に従い変更します。



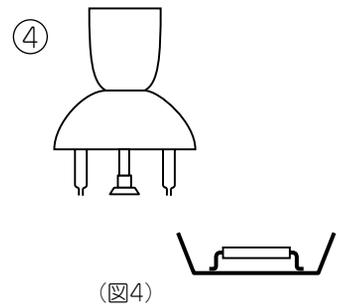
(図1)



(図2)



(図3)



(図4)

#### ⚠注意

タイマーが残り5秒以上の時バキュームボタンを押すとバキュームポンプがONになります。タイマーの残り時間は強制的に5秒になります。

#### ⚠注意

基板に残ったはんだは劣化しています。はんだ除去器やウイックで除去してください。

## AUTO/INSTALLモードでの使用

### ●INSTALLモードの選択

モード選択ボタンを押しINSTALLに設定します。このモードのプロセスは

- ①バキュームON(手動)
  - ②スタート/熱風吹き出し(手動)
  - ③5秒後バキュームOFF(自動)
  - ④冷却開始及び送風停止(自動)
- となります。

### ●取り付け

#### ●基板のセット

基板にクリームはんだ等を適量塗布します。

#### ①部品の吸着・位置決め

こて部(またはフットスイッチ)のバキュームボタンを押します。取り付ける部品をパッドに吸着させ基板上に位置決めします。

(図1)

#### ②スタート

スタートボタンを押します。熱風が吹き出し、はんだ付けを開始します。(図2)

#### ③バキュームストップ

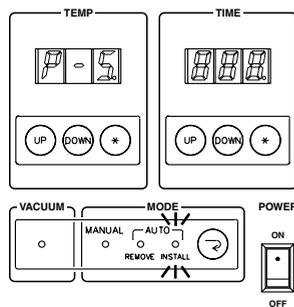
5秒後にバキュームがオフになり吸着をはずします。(図3)

#### ④ストップ

タイマーが0になると冷却を開始します。はんだが固まったことを確認後、上げます。(図4)

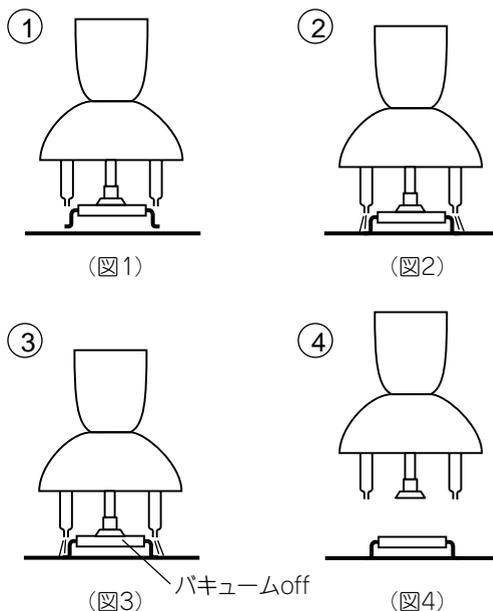
#### ⚠注意

熱風を用いたはんだ付けには、多くの長所がある一方、はんだボールの発生やブリッジなどのはんだ付け不良を引き起こす可能性もあります。作業にあたっては諸条件の十分な検討をお勧めします。



設定温度を確認する場合、**\***ボタンを1秒未満押します。変更したい場合は11ページの温度の設定/変更に従い変更します。

送風時間を変更したい場合は12ページのタイマー時間の設定/変更に従い変更します。



# 使用方法

## 温度の設定/変更

### △注意

#### 温度設定範囲

100℃～450℃ (212°F～842°F)

●設定範囲を越える数値を入力すると再度、3桁目の入力に戻ります。正しい数値を入れ直してください。

●表示及び設定温度はセンサー部での温度です。(同一設定でもノズルサイズにより吹き出し温度は変化します。)

### 例:300℃から450℃に変更する場合

1. 温度設定の **✳** ボタンを1秒以上押す。

●表示部の3桁目が点滅します。これで温度設定モードに入り、3桁目が入力可能であることを示します。

### 2. 3桁目の入力

● **UP** または **DOWN** ボタンを用い3桁目の数値を決定します。入力可能な数値は1・2・3・4です。(°Fモード時は、2、3、4、5、6、7、8です。)

希望の数値が表示されたら **✳** ボタンを押します。点滅が2桁目に移ります。

### 3. 2桁目の入力

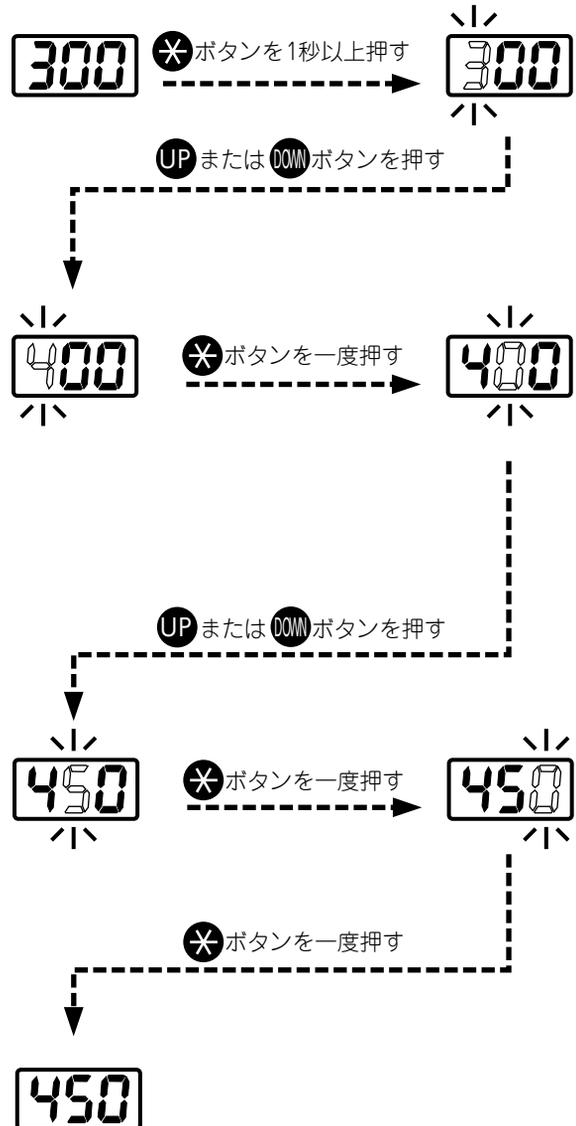
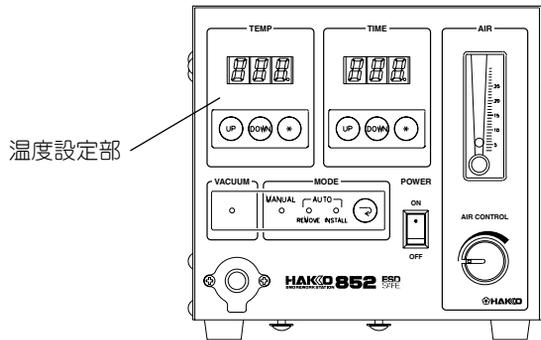
● **UP** または **DOWN** ボタンを用い2桁目の数値を決定します。入力可能な数値は1・2・3・4・5・6・7・8・9・0です。希望の数値が表示されたら **✳** ボタンを押します。点滅が1桁目に移ります。

### 4. 1桁目の入力

●2桁目の入力時と同様の操作を行い、希望の数値を選択後、**✳** ボタンを押します。これで内部メモリーに記憶し、新しい設定温度を表示後、ヒーター制御を始めます。

### △注意

温度設定を最後までせずに電源を切ると、新しい設定温度は記憶されません。



## タイマー時間の設定/変更

### ⚠注意

タイマー設定範囲  
15~999秒

●設定範囲を越える数値を入力すると再度、3桁目の入力に戻ります。正しい数値を入れ直してください。

例:30秒から100秒に変更する場合

1.モード選択ボタン  を押しREMOVEまたはINSTALLに設定します。

2.タイマー設定の  ボタンを1秒以上 押す。

●表示部の3桁目が点滅します。これで設定モードに入り、3桁目が入力可能であることを示します。

3.3桁目の入力

●  または  ボタンを用い3桁目の数値を決定します。  
希望の数値が表示されたら  ボタンを押します。点滅が2桁目に移ります。

4. 2桁目の入力

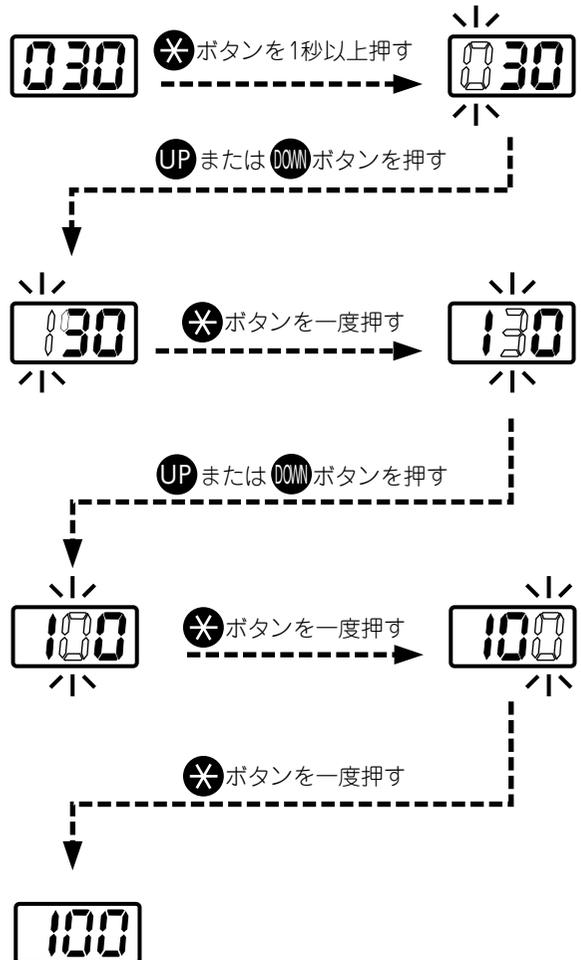
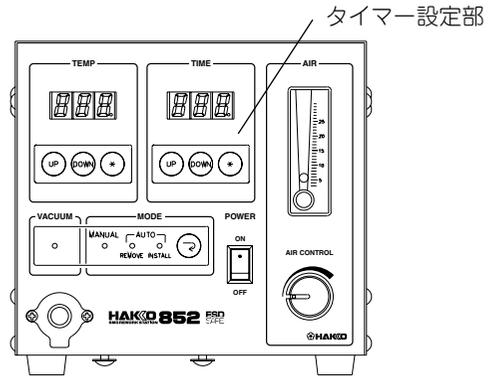
●  または  ボタンを用い2桁目の数値を決定します。希望の数値が表示されたら  ボタンを押します。  
点滅が1桁目に移ります。

5. 1桁目の入力

●2桁目の入力時と同様の操作を行い、希望の数値を選択後、 ボタンを押します。これで内部メモリーに記憶し、新しいタイマー時間を表示後、ヒーター制御を始めます。

### ⚠注意

タイマー時間設定を最後までせずに電源を切ると、新しい設定タイマー時間は記憶されません。



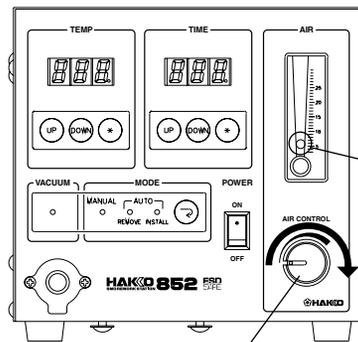
# 使用方法

## 風量調節

熱風の風量を風量計を見ながら調節します。  
調節範囲は7 f/min～20 f/minです。

### ⚠注意

風量調節ツマミをまわす時、無理な力でまわし切らないでください。



ボールの中心を  
読みます。

右にまわすと風量が増えます。  
左にまわすと減ります。

# パラメーター/イニシャルリセット

## ●パラメーターの入力

ハッコー852は3つのパラメーターを持っています。

- 1) 温度表示 °C、°F切り換え
- 2) パワーセーブ時間（30分、60分切り換え）
- 3) センサー温度の表示

いったんパラメーターモードに入ると以下の順に設定されます。全てのパラメーターが設定された後、通常の動作に戻ります。

### ①°C(摂氏)、°F(華氏)の切り換え

- 1.電源スイッチを切ります。
- 2.温度設定部の **UP** と **DOWN** ボタンを同時に押しながら電源スイッチを入れます。
3. **UP** と **DOWN** ボタンを押し続けます。 (摂氏)または  (華氏)が表示されればパラメーター入力モードに入っています。
  - **UP** または **DOWN** ボタンを押すと  または  に交互に変わります。
  - **✖** ボタンを押すと表示が決定され、パワーセーブ時間の入力に移ります。

### ②パワーセーブ時間の切り換え

パワーセーブ機能とは、マニュアルモード時に熱風を吹き出し続けた場合に、自動的に切れる機能です。この場合ヒーターへの通電を切った後に冷却して、送風を停止します。

- パワーセーブ時間の設定に入ると  または  が表示されます。30分と60分の選択となります。
- **UP** または **DOWN** ボタンを押すと  または  に交互に変わります。
- 決定後、**✖** ボタンを押すと次のセンサー温度の表示に移ります。

### ③センサー温度の表示

#### ⚠注意

パラメーター設定を最後までせずに電源を切ると新しいパラメーターは記憶されません。

- データの inputs は不要です。  
ここで表示されている数値は、現在センサーが感知している温度です。
- **✖** ボタンを押すとパラメーター入力モードを終了し設定温度を2秒表示後、通常モードに戻ります。

## ●イニシャルリセット

温度設定部の **UP** **DOWN** **✖** のボタンを押しながら電源スイッチを入れるとリセットし下記の初期値になります。

°C/°F切換	°C
パワーセーブ時間	30分
設定温度	300°C
タイマー時間	30秒
モード	MANUAL

# メンテナンス/点検方法

## ●ヒーター・センサー切れ

### ①こて部を開ける。

- 1.バキュームパイプを最短まで縮めます。
- 2.こて部を止めている3本のねじをはずします。
- 3.チューブを下にずらします。
- 4.パイプをグリップの突起からはずし、パイプを抜きます。

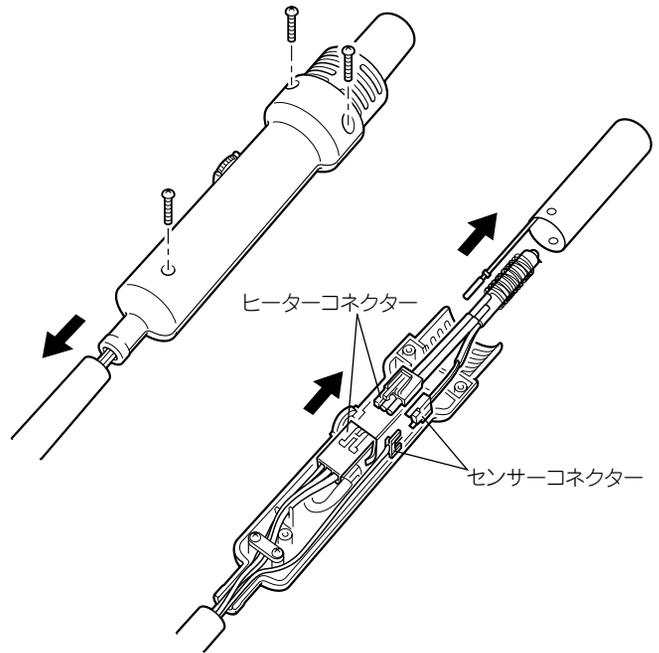
#### ⚠注意

パイプ内部に石英ガラスと断熱材が入っています。落としたり、紛失しないようにしてください。

- 5.ヒーター・センサーコネクターをはずし、ヒーターを抜き取ります。

#### ⚠注意

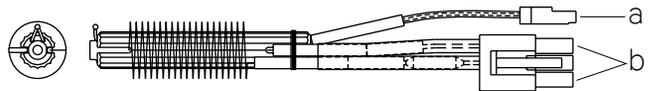
バキュームパイプに無理な力をかけないでください。



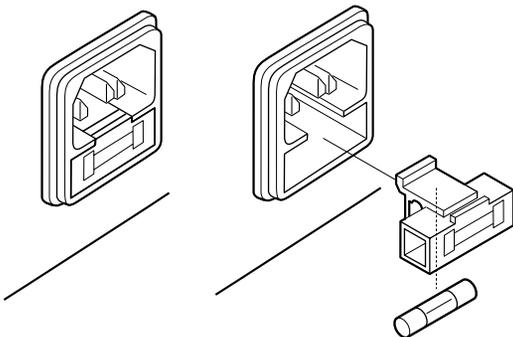
### ②抵抗値を計る。

- 1.センサーの抵抗値 a を計ります。  
正常値は0Ωです。
- 2.ヒーターの抵抗値 b を計ります。正常値は約33Ω(±10%)(100-120V)です。  
(常温時)

抵抗値が異常な場合は交換してください。  
(交換方法は交換部品付属の説明書を参照してください。)



## ●ヒューズ交換方法

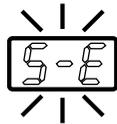


- 1.電源コードをインレットより引き抜きます。
- 2.ヒューズホルダーを引き抜きます。
- 3.新しいヒューズと交換します。
- 4.元通り組み立てます。

# エラー表示

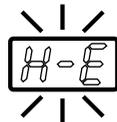
ハッコー852は不具合が生じた時に、各種エラー表示を行います。  
もしこのような表示がなされた場合、「トラブル発生時に」をご覧ください。

センサーエラー



センサー切れ(センサー回路を含む)の可能性がある場合  
**S-E**を点滅させ、通電をストップします。

ヒーターエラー



ヒーターに通電しているにもかかわらず、熱風の温度が降下すると、**H-E**を点滅させ、ヒーター切れの可能性を示します。

## トラブル発生時に

### ⚠ 警告

●内部点検や部品交換の際、電源プラグは必ず抜いてください。感電の恐れがあります。

●電源スイッチを入れても動作しない。

**点検**：電源コードがはずれていませんか。  
**対処**：接続する。

●センサーエラー **S-E** が点滅する。

**点検**：ヒューズが切れていませんか。  
**対処**：なぜヒューズが切れたのか原因を確認した後、交換してください。

●ヒーターエラー **H-E** が点滅する。

**点検**：センサーは切れていませんか。  
**対処**：センサー断線の調べ方をご覧ください。

●タイマー時間の設定ができない。

**点検**：ヒーターは切れていませんか。  
**対処**：ヒーター断線の調べ方をご覧ください。

●バキュームボタンを押してもバキュームポンプが止まらない。

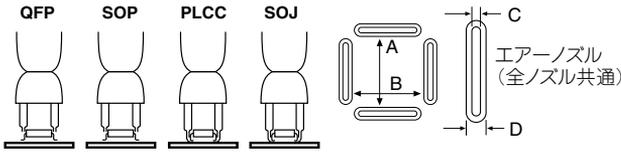
**点検**：モードがAUTOになっていますか。  
**対処**：AUTOモードにしてください。  
**点検**：設定範囲外の入力をしていませんか。  
**対処**：設定範囲内の値を入力してください。

**点検**：バキュームボタンを0.3秒以上押していますか。  
**対処**：0.3秒以上押してください。

# オプション(ノズル)

## 注意

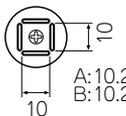
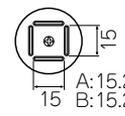
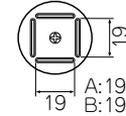
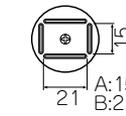
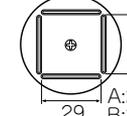
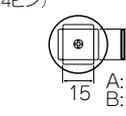
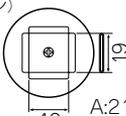
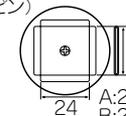
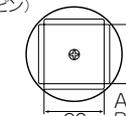
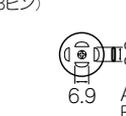
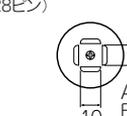
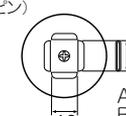
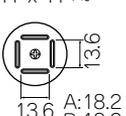
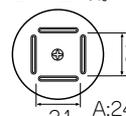
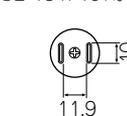
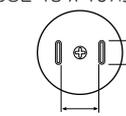
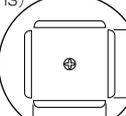
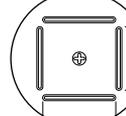
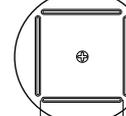
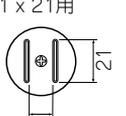
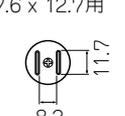
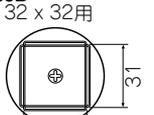
品名/仕様のサイズは、ICパッケージの大きさを表示しています。



	C0.8 D1.8	C1.0 D2.0	C0.8 D2.0
No.	A1125B~A1129B A1131~A1141B A1180B~A1189B A1203B~A1265B	A1191	A1192

## ●バキューム機能が使用できるノズル

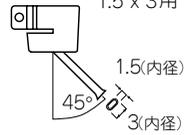
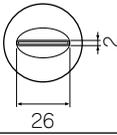
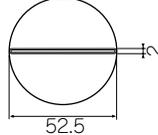
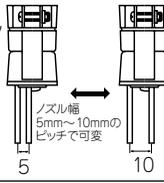
単位:mm

<b>A1125B</b> QFP 10 x 10 用  A:10.2 B:10.2	<b>A1126B</b> QFP 14 x 14 用  A:15.2 B:15.2	<b>A1127B</b> QFP 17.5 x 17.5 用  A:19.2 B:19.2	<b>A1128B</b> QFP 14 x 20 用  A:15.2 B:21.2	<b>A1129B</b> QFP 28 x 28 用  A:29.7 B:29.7	<b>A1135B</b> PLCC 17.5 x 17.5 用 (44ピン)  A:18.5 B:18.5
<b>A1136B</b> PLCC 20 x 20 用 (52ピン)  A:21 B:21	<b>A1137B</b> PLCC 25 x 25 用 (68ピン)  A:26 B:26	<b>A1138B</b> PLCC 30 x 30 用 (84ピン)  A:31 B:31	<b>A1139B</b> PLCC 12.5 x 7.3 用 (18ピン)  A: 9 B:14	<b>A1140B</b> PLCC 11.5 x 11.5 用 (28ピン)  A:13 B:13	<b>A1141B</b> PLCC 11.5 x 14 用 (32ピン)  A:15 B:13
<b>A1180B</b> BQFP 17 x 17 用  A:18.2 B:18.2	<b>A1181B</b> BQFP 19 x 19 用  A:19.2 B:19.2	<b>A1182B</b> BQFP 24 x 24 用  A:24.2 B:24.2	<b>A1184B</b> SOJ 18 x 8 用  A:10	<b>A1185B</b> TSOL 13 x 10 用  A:11.9	<b>A1186B</b> TSOL 18 x 10 用  A:11.7
<b>A1187B</b> TSOL 18.5 x 8 用  A:18.5	<b>A1188B</b> PLCC 9 x 9 用 (20 Pins)  A:11 B:11	<b>A1189B</b> PLCC 34 x 34 用 (100 Pins)  A:36.5 B:36.5	<b>A1203B</b> QFP 35 x 35 用  A:35.2 B:35.2	<b>A1214B</b> SOJ 10 x 26 用  A:25.9	<b>A1215B</b> QFP 42.5 x 42.5 用  A:42.5 B:42.5
<b>A1257B</b> SOP 11 x 21 用  A:11.7	<b>A1258B</b> SOP 7.6 x 12.7 用  A:8.2	<b>A1259B</b> SOP 13 x 28 用  A:13.5	<b>A1260B</b> SOP 8.6 x 18 用  A:8.7	<b>A1261B</b> QFP 20 x 20 用  A:20.2 B:20.2	<b>A1262B</b> QFP 12 x 12 用  A:12.2 B:12.2
<b>A1263B</b> QFP 28 x 40 用  A:27.7 B:39.7	<b>A1264B</b> QFP 40 x 40 用  A:40.2 B:40.2	<b>A1265B</b> QFP 32 x 32 用  A:32.2 B:32.2			

# オプション(ノズル)

## ●バキューム機能が使用できないノズル

単位:mm

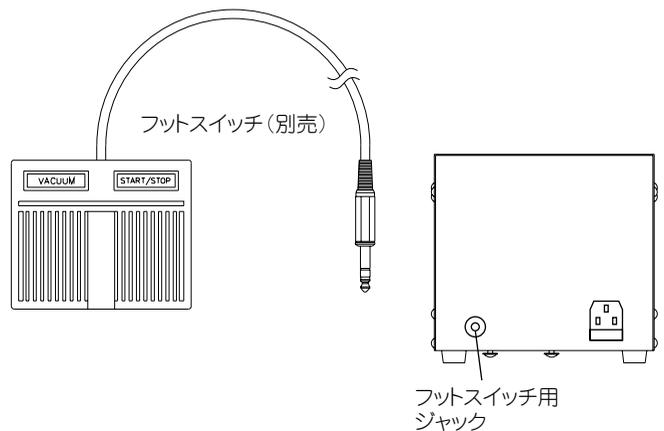
<b>A1124B</b> シングル φ2.5用  φ2.5 (内径)	<b>A1130</b> シングル φ4.4用  φ4.4 (内径)	<b>A1131</b> SOP 4.4 x 10用  4.8	<b>A1132</b> SOP 5.6 x 13用  5.7	<b>A1133</b> SOP 7.5 x 15用  7.2	<b>A1134</b> SOP 7.5 x 18用  7.2	<b>A1142B</b> シングルマガリ 1.5 x 3用  1.5(内径) 45° 3(内径)
<b>A1183</b> SOJ 15 x 8用  8	<b>A1190</b> 2.5 x 9.5用 2重シングル  φ2.5 (内径)	<b>A1191</b> SIP 25L用  26	<b>A1192</b> SIP 50L用  52.5	<b>A1325</b> φ1.5 x 5-10 スライド式ノズル  ノズル幅 5mm~10mmの ピッチで可変	ノズル正面  10 5 φ1.5 (内径) ピス ピスをゆるめて必要寸法にセットして、再びピスを締めるだけの簡単スライド方式	

### ⚠注意

No.A1124シングルφ2.5は852には使用しないでください。852で使用した場合、熱風の吹き出し口を塞ぐため危険です。

# オプション・フットスイッチ

●フットスイッチで、こて部のスタートボタンとバキュームボタンの同じ操作を行うことができます。



本体後面のフットスイッチ用ジャックにフットスイッチのプラグを差し込みます。

# 部品リスト

※取り付けねじは、仕様書に記載されていない場合、別途ご注文ください。

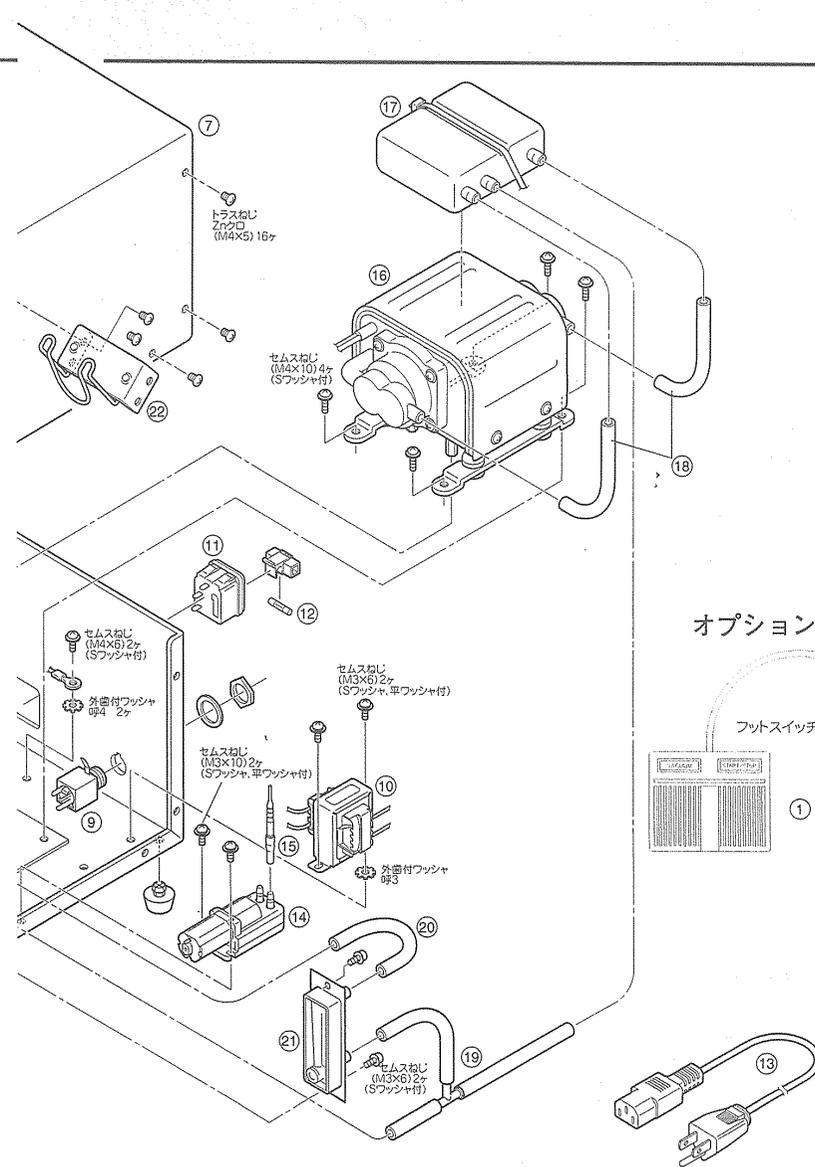
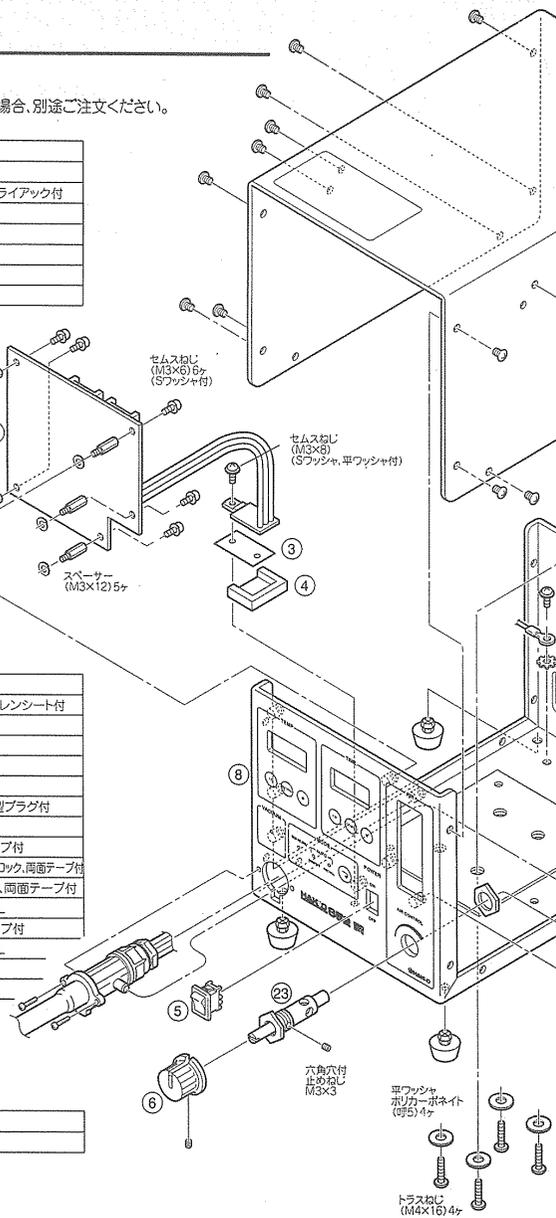
図番	品番	部品名	仕様
1	B2461	基板/表示用	
2	B2462	基板/制御用	100-120V、トリアック付
3	B2463	放熱シート	
4	B2317	絶縁シート	
5	B1084	スイッチ	
6	B1028	ツマミ	ねじ付
7	B2464	カバー	

図番	品番	部品名	仕様
8	B2465	シャッシ	表示窓、メンブレンシート付
9	B2466	ジャック	
10	B2467	トランス	100V
11	B2384	インレット	
12	B2468	ヒューズ/125V-5A	
13	B2387	電源コード	ゴム2極接地型プラグ付
14	B2469	パキュームポンプ	
15	B2470	継手/パキュームポンプ用	シリコンチューブ付
16	B2471	エアポンプ/100V	高カト、インシュロック、両面テープ付
17	B2472	消音タンク	インシュロック、両面テープ付
18	B2473	シリコンチューブ	φ8×φ5×130L
19	B2474	T字形継手	シリコンチューブ付
20	B2475	シリコンチューブ	φ8×φ5×205L
21	B2476	風量計	取付板付
22	B2477	こてホルダー	組品

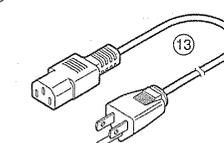
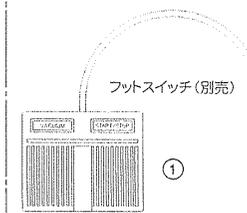
※図番23、排出ノズルが必要な方は、代理店/販売店までご相談ください。

## オプション

図番	品番	部品名	仕様
1	B2478	フットスイッチ	

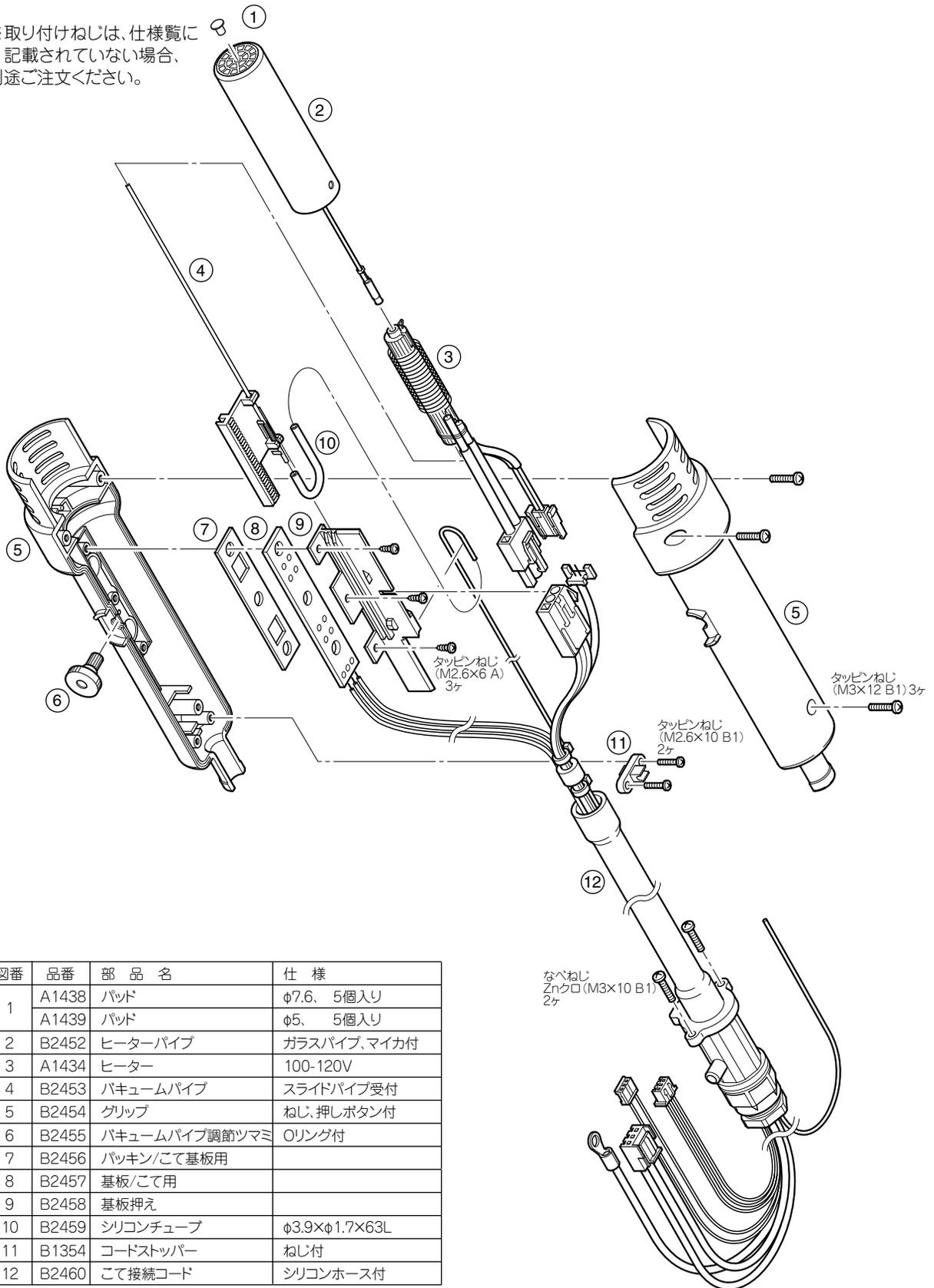


## オプション



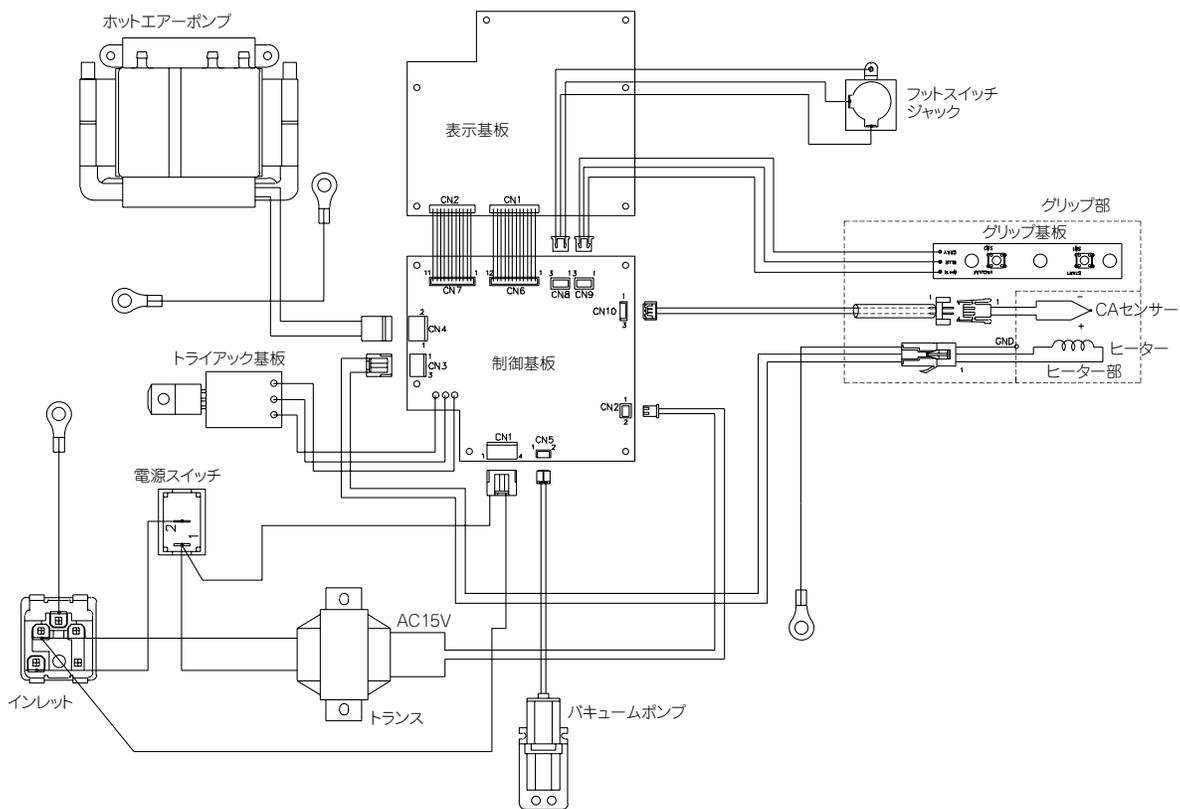
# 部品リスト (こて部)

※取り付けねじは、仕様覧に記載されていない場合、別途ご注文ください。



図番	品番	部品名	仕様
1	A1438	パッド	φ7.6、5個入り
	A1439	パッド	φ5、5個入り
2	B2452	ヒーターパイプ	ガラスパイプ、マイカ付
3	A1434	ヒーター	100-120V
4	B2453	バキュームパイプ	スライドパイプ受付
5	B2454	グリップ	ねじ、押しボタン付
6	B2455	バキュームパイプ調節ツマミ	リング付
7	B2456	パッキン/こて基板用	
8	B2457	基板/こて用	
9	B2458	基板押え	
10	B2459	シリコンチューブ	φ3.9×φ1.7×63L
11	B1354	コードストッパー	ねじ付
12	B2460	こて接続コード	シリコンホース付

# 配線図





白光株式会社

<http://www.hakko.com/>

〒556-0024 大阪市浪速区塩草2丁目4番5号  
TEL: (06) 6561-1574 (代) FAX: (06) 6568-0821  
営業所 / 東京、仙台